

平成 2 1 年 1 月 5 日

弊社製品お取扱店 各位

株式会社名手酒造店
代表取締役 名手久雄

製品アイテムの変更、統合について（ご案内）

拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社製品につきまして、格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。

いわゆる「普通酒」カテゴリーにつきまして、上撰に相当する（上撰証紙貼付品もあります）金泉「菊御代」・「笑う門」と、佳撰に相当する鈴「菊御代」がございましたが、このたび醸造アルコール添加をしないで純米酒表示をしない「仕込み其の一 菊御代」の発売に伴いまして、次のとおり整理することとさせていただきます。

1. アルコール添加型は「金泉 菊御代または笑う門」一本に統一し、鈴は終売とさせていただきます。
2. 「仕込み其の一 菊御代」を鈴と同価格において配置します。

内容としては、鈴から醸造アルコール添加を廃止して価格据置であるため、いわゆるスペックとしては向上になりますが、業務店様を中心に軽快さを好むユーザーもいらっしゃるの、同様の酒質の金泉への誘導をお願いさせていただきます。

より早い時期からのご案内をすべきところ、遅れましたこととお詫び申し上げます。

当社としては、純米酒だけが本物の酒だなどという極端な説を支持するものではありませんが、本来戦前までの清酒が米の味わいをよく残したつまろやかさや良さがあり、当社が純米酒中心の酒蔵としてのイメージが定着してきたことも合わせ、一步取組を進めることとしたものです。

一方で、普通酒を純米酒にしてしまうことは、表示基準上価格維持に困難があり（検査を受けた 3 等以上の米である必要）、契約栽培による酒造好適米生産時に発生しがちな等外米の使用先を確保する必要があったためでもあります。農家と直結する酒造好適米の契約栽培で例えば酒には影響しないカメムシ被害で等外になった米と、より低価格な粳米の 3 等ではどちらがいい原料なのか疑問ですし、液化醸造でも純米酒であったりとか、農協の新袋に入れないと検査を受けられないとか、検査料に余分な経費がかけられているのではないかとか、検査などやめて物理的に粒の大きさを規制した方がいいのではないかとか、不満な点もあるのですが、基準は基準で昨今の食品表示問題に鑑み、このようなアイテム整理となりました。説明不足かもしれませんが、日用用品を切り捨てたりしない姿勢というものにこだわりを持ちたいので、よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

〒 642-0011

和歌山県海南市黒江 8 4 6 番地

T E L 0 7 3 - 4 8 2 - 0 0 0 5

F A X 0 7 3 - 4 8 3 - 3 4 5 6

<http://www.kuroushi.com/>
info@kuroushi.com/